

**平成28年度
自己評価報告書の概要**

平成29年7月30日

呉竹鍼灸柔整専門学校

目 次

教育目標と本年度の重点目標の評価.....	1
基準 1 教育理念・目的・育成人材像	2
基準 2 学校運営.....	3
基準 3 教育活動.....	4
基準 4 学修成果.....	5
基準 5 学生支援.....	6
基準 6 教育環境.....	7
基準 7 学生の募集と受入れ	8
基準 8 財務	9
基準 9 法令等の遵守.....	10
基準 10 社会貢献・地域貢献.....	11

教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標	平成28年度重点目標	重点目標の達成状況・評価	平成29年度重点目標
<p>教育理念等は次のとおり定めている。</p> <p>I 教育理念 伝統医療教育の質向上とその振興に努め、伝統医療を通じて人々の保健衛生福祉に寄与するとともに、伝統医学のさらなる発展及び普及・啓発に貢献することを教育理念とする。</p> <p>II 教育目標 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師及び柔道整復師として十分な知識・技術・臨床力を身につけ、柔軟な思考力を持った全人的な医療を施すことができる懐の深い医療人を育成する。</p> <p>III 育成人材像 (1) 医療人としての人格を備え、患者中心の医療を実践できる人材 (2) 他職種と連携・協働し、地域医療に貢献できる人材 (3) たゆまぬ研究心と探求心を持って自己研鑽に努め、広く社会に貢献できる人材</p>	<p>1. 専修学校の質保証のための第三者評価認証の申請準備 (1) 文書主義の徹底 (2) 事業計画・予算書の策定</p> <p>2. 学修成果の指標となる国家試験合格率、就職率、中途退学率等に対する数値目標の設定、計画、管理、評価体制の構築 (1) 国家試験合格率100%の達成 (2) 就職率90%以上の達成 (3) 中途退学率5%以下の達成</p>	<p>1. 学園諸規程の整備、規定に基づく学校運営、業務フローの確認等、内部統制の改革に着手し、第三者評価の申請を行うための準備を進めている。</p> <p>2. 平成28年度国家試験については、あん摩マッサージ指圧師が100%、はり師が96.1%、きゅう師が98.7%、柔道整復師が92.9%で全員合格は達成できなかったものの全国水準を大きく上回る結果となった。就職率については、就職希望者に対する就職率が95.6%と目標を達成することができた。中途退学者の割合は6.6%で目標を達成できなかった。中退の主要因は成績不良となっていることから、引き続き補習等で対策を講じていく。</p>	<p>1. 第三者評価認証に向けた準備</p> <p>2. 業務分掌の明確化及び業務改善</p> <p>3. 平成30年度新カリキュラムへの移行準備</p> <p>4. 就職支援体制の構築及び就職率の向上</p> <p>5. 中途退学者の対策</p>

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育理念、目的、育成人材像等は教務規程に定めるとともに、学校案内パンフレットやホームページ等で公開している。関連業界や保護者に対する浸透度の確認は行っていないため今後の課題とする。</p> <p>業界等の人材ニーズについては、教育課程編成委員会や学校関係者から意見を聴取し、その結果を踏まえて授業計画に役立てている。</p> <p>本校は、医療職種養成校として国家試験全員合格を目指しており、その結果、全国でも有数の高い資格取得率を誇っている。</p> <p>中期的（3～5年）な将来構想の策定及びその周知については、これまで文書化されたことがなかったため、今後の課題とする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【1-1】理念・目的・育成人材像</p> <p>1 理念・目的・育成人材像は定められているか</p> <p>2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか</p> <p>3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか</p> <p>4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか</p> </div> <p>本学園は、大正 15 年、伝統医療の復興とそれを担う人材育成、伝統医療教育の発展を通して人々の健康に寄与することを目的に創設された。この創設者の思いは 90 年以上たった今なお連綿と受け継がれ、我々教職員の行動指針となっている。</p> <p>この伝統と歴史を背景に、本校では、創設者の建学の精神に則った理念・目的・育成人材像を広く明示するとともに、職業実践専門課程として社会ニーズ、業界ニーズを踏まえた教育の提供に努めている。2026 年には創立 100 周年を迎えることから、更なる教育活動の充実と教育の質の向上に努め「呉竹」ブランドの認知向上に向けて全学を挙げて取り組んでいく。</p> <p>一方で、志願者や保護者や関連業界に対しては、将来に向けた構想や中長期的行動計画を示していくことで、学校教育び学校運営に関する周知・理解を促進していく。</p>

基準 2 学校運営

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校運営は、理事会、校長会の決定に基づき行われ、運営方針については事業計画に定めている。</p> <p>事業計画には必ずしも予算と関連していないものもあり、事業計画の執行状況、見直し等についても十分精査できていないため、今後の改善事項とする。</p> <p>設置法人の運営組織は、寄付行為に基づき理事会及び評議委員会を定期に開催し議事録を作成している。学校運営の組織は、学則及び組織規程に規定されている。</p> <p>人事・給与については就業規則に規定しているが、採用基準や人事考課等については規定されていないため、今後の検討課題とする。</p> <p>意思決定システムは、文書決裁規程等で明確にしているものの、規定に基づかない会議や慣例的な処理がなされる場合もあるため、教職員への内部浸透を課題としている。</p> <p>情報システム化については、学務全般を管理する汎用的な学籍管理システムでは、本校が希望する出席管理や成績管理が行えず、またセキュリティーやコストの面からも導入は見送っている。ただし試験問題の作成や成績集計等については分析を必要とするため、分析システムを導入している。基本的な学務業務は、学生及び教職員からの申請書類等に基づき、エクセル・ワード等によってデータ管理を行っている。</p>	<p>【2-2】運営方針</p> <p>1 理念等に沿った運営方針を定めているか</p> <p>【2-3】事業計画</p> <p>1 理念等を達成するための事業計画を定めているか</p> <p>【2-4】運営組織</p> <p>1 設置法人の組織運営を適切に行っているか</p> <p>2 学校運営のための組織を整備しているか</p> <p>【2-5】人事・給与制度</p> <p>1 人事・給与に関する制度を整備しているか</p> <p>【2-6】意思決定システム</p> <p>1 意思決定システムを整備しているか</p> <p>【2-7】情報システム</p> <p>1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか</p>

基準 3 教育活動

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育活動は、教育目標、教育方針及び育成人材像に基づき行うとともに、課程毎に教育課程編成委員会を開催し、授業科目や教育活動について外部の意見を参考にしている。</p> <p>キャリア教育については、職能学校として臨床教育の強化をキャリア教育として位置付けているものの、キャリア教育が示す範囲（定義）、目的、指導方法等については明文化されていないため、今後策定していく。</p> <p>授業評価は、学生による授業評価アンケートを毎年度実施し、その結果を各教員に個別にフィードバックしている。さらに卒業時の学生満足度調査を実施し、学内の課題を把握することに努めているが、課題の改善については組織的に十分検討、検証されていないことを課題としている。</p> <p>成績評価は、各学期の試験、実技認定試験、進級試験、卒業試験等について、それぞれ学則及び教務規程に定められた規定に従い、成績判定会議を通して公正に決定している。</p> <p>資格取得の指導体制は、国家試験のレベルに対応する授業を展開するとともに、国家試験を想定した試験を繰り返し行うことで確実に取得できるようにしている。また成績不良者に対しては早期に学力を把握し、補習や個別指導を通してフォローしている。</p> <p>教員については、教員資格を有する教員を採用するとともに、学園内に設置された教育センターを中心に組織的なFD活動を通して、教員の能力開発、スキルアップを図っている。一方で教員組織及び教務の職務分掌はそれぞれ規定で明確になっているが、学校行事や業務量の増加に対して労務管理上の問題等があり、教育活動のPDCA、業務分担、学生対応等について課題を残している。</p>	<p>【3-8】目標の設定</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか 2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか <p>【3-9】教育方法・評価等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか 2 教育課程について外部の意見を反映しているか 3 キャリア教育を実施しているか 4 授業評価を実施しているか <p>【3-10】成績評価・単位認定等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか 2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか <p>【3-11】資格・免許の取得の指導体制</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか 2 資格・免許取得の指導体制はあるか <p>【3-12】教員・教員組織</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 資格・要件を備えた教員を確保しているか 2 教員の資質向上への取組を行っているか 3 教員の組織体制を整備しているか

基準 4 学修成果

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>キャリアガイダンスや就職相談会の開催等により、就職率は80%以上を維持しているものの、目標としている卒業時就職率90%以上を達成できていない。この理由として、①就職支援が事業化・予算化されておらず、組織的な取り組みとなっていない、②就職決定までの行動計画が学生に十分浸透していない、③就職よりも国家試験が目標になっていることなどが挙げられる。これらの課題解決のため、就職支援を事業として位置付けるとともに、具体的支援計画、支援方法を策定し、学生に周知・指導していく。</p> <p>資格取得については、全員合格を目標に掲げ、授業、試験、補習等を通して国家試験対策を行っている。過去25年の国家試験合格率の平均は、あん摩マッサージ指圧師 100%、はり師 98.3%、きゅう師 98.1%、柔道整復師 92.6%となっており、毎年全国平均の水準を大きく上回る成績を修めている。</p> <p>卒業生の社会的評価については、統計的なデータとして把握していないことから、今後、調査方法等について検討していくこととする。</p>	<p>【4-13】 就職率 1 就職率の向上が図られているか</p> <p>【4-14】 資格・免許の取得率 1 資格・免許取得率の向上が図られているか</p> <p>【4-15】 卒業生の社会的評価 1 卒業生の社会的評価を把握しているか</p>

基準 5 学生支援

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>就職支援は事務局が主体となり、就職相談会の開催、求人案内、進路状況等の調査を行っているが、就職支援に係る組織体制の明文化、担任教員との連携、学生個々の就職活動の管理把握、就職先との連携、面接指導、セミナーの開催等を課題とする。</p> <p>中途退学の低減については、その要因を統計的に把握する書式を作成するとともに、早期の学力把握、面談、補習、キャリアガイダンス、経済的支援策の拡充等を通してさまざまな予防策を講じているが、基本的学習能力に課題があることが多く、十分な成果は得られていないが、引き続き FD 活動等を通して中退予防に取り組んでいく。</p> <p>経済的支援については、独自の授業料減免制度を導入するとともに、専門学校生への効果的な経済的支援の在り方に関する実証研究事業に参画している。健康管理については、学校保健安全法に基づき、年 1 回の健康診断及び結核検診を実施するとともに、日常では体調不良等があれば保健室又は附属施術所、若しくは最寄りの医療機関での受診等で対応している。また提携学生寮を備えている。課外活動については、学術大会の研究発表、古典研究会、柔道サークルが活動しているが、顧問等の人員的な課題があるため、積極的な支援には至っていない。</p> <p>保護者との連携については、入学時のオリエンテーション、年間行事予定の案内送付等に留まるが、学業成績不良、欠席がちな学生に対しては、保護者と密に連携をとり、必要に応じて三者面談を実施している。</p> <p>卒業生への支援は、校友会組織「呉竹会」を中心に学術講習会を開催するなど資格取得後のスキルアップを支援している。卒後の教育については、関連学会、業界団体が主催する学術大会等が業界を牽引しているため、これらの学会等に学校として参加協力を行っている。</p>	<p>【5-16】就職等進路 1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか</p> <p>【5-17】中途退学への対応 1 退学率の低減が図られているか</p> <p>【5-18】学生相談 1 学生相談に関する体制を整備しているか 2 留学生に対する相談体制を整備しているか</p> <p>【5-19】学生生活 1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか 2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか 3 学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか 4 課外活動に対する支援体制を整備しているか</p> <p>【5-20】保護者との連携 1 保護者との連携体制を構築しているか</p> <p>【5-21】卒業生・社会人 1 卒業生への支援体制を整備しているか 2 産学連携による卒後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか 3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか</p>

基準 6 教育環境

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>施設・設備はすべて関係法令の基準に適合したものとなっている。また年間計画の中で定期的に施設・設備の点検を実施し、その結果に基づき施設の改修工事、設備更新などを行っている。平成 28 年度は、主に空調設備の更新、学生ホールのするテーブルや椅子の入替、図書室の椅子の入替等を行った。</p> <p>図書は医学書を中心に 5,000 冊以上を有するとともに、図書購入費を毎年予算化し、蔵書数 1 万冊を目標に 200～300 冊ずつ蔵書を拡充している。</p> <p>学外実習・インターンシップについては、法令により正規の授業として認められないことから一部の実施に留まっているが、認定規則の改正に伴い、平成 30 年度から学外実習を教育課程カリキュラムに取り込むことが可能になったことから、今後は必要な運用規程等を設けるとともに、学外の実習施設との連携体制を構築していく。</p> <p>防災に関しては、消防計画及び危機管理マニュアルに基づき、災害時の体制を組織するとともに、学生及び教職員に対して防災訓練を毎年実施するとともに、消防設備の点検、災害時の備蓄品の整備等を進めている。また、学内の安全管理については、学校安全計画及び危機管理マニュアルに基づき、校舎施設設備の点検、防犯カメラの設置、災害傷害保険の加入等により、リスクの低減に取り組んでいる。</p>	<p>【6-22】施設・設備等 1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか</p> <p>【6-23】学外実習・インターンシップ等 1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか</p> <p>【6-24】防災・安全管理 1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか 2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか</p>

基準 7 学生の募集と受入れ

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>高等学校に対する情報提供では、高校ガイダンス、高校訪問、見学会などの機会に進路指導担当の先生と卒業後の進路、取得資格、教育課程、入試制度、学校説明会等に関する情報を資料とともに提供している。また、学生募集の時期や方法については、専修学校各種学校協会の入試倫理規程に従い、高校の受験指導の状況等も勘案して計画・実施している。一方で、学生募集活動を効果的に実施するために、ホームページ、SNS、パンフレット、チラシ、WEB・紙媒体等を見直すとともに、学校説明会ではアンケートを実施し、その結果を踏まえて説明内容、プログラムについて都度改善できるよう作業部会で検討をしている。</p> <p>入学選考基準は入試委員会規程に明示しており、入試の判定については入試委員会にて決定し、その結果を議事録に保存している。入試に関するデータ及び募集状況については、校長会にて定期的に報告され、次年度の計画に生かしている。</p> <p>学納金は、他校と比較して妥当な水準となっており、経費内容に適合した内容となっている。入学辞退者に対する授業料等の返戻については、募集要項及び規程に明記している。</p>	<p>【7-25】学生募集活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか 2 学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか <p>【7-26】入学選考</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか 2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか <p>【7-27】学納金</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか 2 入学辞退者に対し授業料等について適正な取扱いを行っているか

基準 8 財務

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>新横浜に開設以来、借入金はなく繰越利益金もプラスで推移しているため、中長期的に安定的な財務基盤となっている。一方で、学校の収益は授業料収に依存しているため、学生募集や中途退学等の状況に影響を受けやすい。入学志願者数の減少に伴い、授業料収入も減少傾向にあるため、今後の運営方針及び教育活動の見直しを課題としている。また、平成30年度からスタートする新カリキュラム移行に伴う実習費・人件費の増加、校舎及び施設設備の経年劣化に伴う更新工事等により、経費負担割合が増えることから、持続的な収入確保、経費節減等について検討することとした。</p> <p>予算・収支計画については、校長会及び理事会等での決定事項に基づき計画されているが、さらに精度を高めて単年度事業計画、中期事業計画と関連させて計画、執行していくことを課題としている。</p> <p>監査は法令に基づき每期実施し、理事会において監査報告を行っている。また業務フローについても見直しを図るため外部監査法人による指導を受けている。</p> <p>財務情報の公開については、情報公開規程を整備し、財務諸表をホームページに公開している。</p>	<p>【8-28】財務基盤</p> <p>1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか</p> <p>2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか</p> <p>【8-29】予算・収支計画</p> <p>1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか</p> <p>2 予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか</p> <p>【8-30】監査</p> <p>1 私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施しているか</p> <p>【8-31】財務情報の公開</p> <p>1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか</p>

基準 9 法令等の遵守

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校運営に関して必要な申請及び届出は、法令の定めるところにより、所轄官庁の指導に従って適切に行い、指導や指摘がある場合には速やかに対応している。学校運営に必要な規程は整備されているが、整備・見直しが必要な規程もあることから、法人事務局を中心に整備を進めている。</p> <p>個人情報保護に関しては、情報漏洩防止の観点からデータの取り扱い等の守るべきルールを策定し運用しているが、ネットセキュリティーに関して、年々悪質化及び高度化する悪意のある脅威の変化に対して十分な対策が講じられているとは言えない状況であるため、今後は学園内に情報セキュリティーに関する部門を創設し、ネットワーク及びネットインフラのセキュリティー強化を目指すとともに、教職員への周知を図っていく。</p> <p>学校評価については、自己点検・自己評価を実施するとともに、その結果をもとに、関連業団体の有識者、企業等の役職者、保護者等で構成される学校関係者評価を実施するとともに、その結果をホームページに公表している。</p> <p>教育情報の公開に関しては、文部科学省の「専門学校における情報提供等の取組に関するガイドライン」に示されている内容に従って、ホームページや学校案内パンフレット等で公表している。</p>	<p>【9-32】 関係法令、設置基準等の遵守 1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか</p> <p>【9-33】 個人情報保護 1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか</p> <p>【9-34】 学校評価 1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか 2 自己評価結果を公表しているか 3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか 4 学校関係者評価結果を公表しているか</p> <p>【9-35】 教育情報の公開 1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか</p>

基準 10 社会貢献・地域貢献

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献として、学園祭においてチャリティー鍼灸・チャリティーマッサージを毎年開催し、地域住民との交流を図っている。また、上海中医薬大学との学術交流（短期留学）を30年にわたり実施している。</p> <p>ボランティア活動では、神奈川県体育協会主催の陸上競技、ハンドボール大会におけるメディカルサービスステーションのボランティアスタッフとして協力している。</p>	<p>【10-36】社会貢献・地域貢献</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか 2 国際交流に取り組んでいるか <p>【10-37】ボランティア活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか